

令和 7 年度第 1 回静岡県地域職業能力開発促進協議会

議 事 錄

日 時 令和 7 年 11 月 10 日（月） 10：15～12：00

場 所 静岡地方合同庁舎 4 階共用大会議室

令和 7 年度 第 1 回静岡県地域職業能力開発促進協議会 議事録

議題（1）「第 1 回中央職業能力開発促進協議会について」

議題（2）「令和 6 年度公的職業訓練の実績及び令和 7 年度の実施状況について」

【畠会長】

ご説明ありがとうございました。ただいまの議題 1 及び 2 については承認事項ではありませんので、このまま議事を進めます。

議題（3）「令和 7 年度静岡県地域職業訓練実施計画・別紙の見直しについて」

【畠会長】

ありがとうございました。ただいまの議題 3 についても、昨年度までは承認を得ておりましたが、前年度 2 回目の協議会で説明したとおり随時見直すべき事柄であるので、こちらも承認事項とはなっておりませんが、ご意見、ご質問がありましたら後ほどお伺いしたいと思います。

議題（4）「公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング結果について」

議題（5）「令和 7 年度職業訓練実施計画の策定に向けた方向性（案）について」

【畠会長】

議題 5 については承認事項となっております。ご意見、ご質問がございましたらお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

「異議なし」意見、質問なし。

議題（6）「教育訓練給付制度の指定講座の状況について」

議題（7）「リカレント教育について」

の説明が終了後の意見、質問以降から

【畠会長】

わかりやすいご説明をいただきありがとうございました。リ・スキーリングを含めたリカレント教育など社会人の学び直しの機会の拡充は文部科学省等で推進しておりますが、静岡県立大学の取り組みは、そのこととも関連するとしても充実した取り組みであるようにお聞きいたしました。議題の 5 以外の事務局の説明報告に関しまして、ご意見、ご質問等がございましたらお伺いしたいと思います。それでは田辺委員、お願ひいたします。

【田辺委員】

JEED ポリテクセンター静岡の田辺でございます。早速ですが、議題4 ワーキンググループによるヒアリング結果について、質問ではないですけどもお願ひをさせていただければと思います。当ポリテクセンターでは、ご存知の通り、ものづくりに特化した職業訓練を実施しているところでございます。先ほどの実施状況でご説明させていただいた通り、離職者訓練の定員充足が令和6年度と比較いたしましても低調な状況となっております。当ポリテクセンターにおきましても、毎年業種ごとにニーズ調査を行っておりますけども、その結果を訓練カリキュラムに反映しきれていないところも、その原因の1つかなど考えております。先ほど事務局坂田課長からご説明いただきましたワーキンググループによりますと、ヒアリング結果についての資料4の14ページの下段のところに「訓練内容で一層習得しておいて欲しい」ことの問い合わせの回答として「特になし」と記載されておりますが、右側の欄外のところには訓練内容に満足している企業がある一方で訓練内容では不十分と感じる企業さんがあるというところでございます。この項目は、やはり我々も意識してニーズ調査をしているところでございまして、非常に重要なところだと思っています。ここでいろいろ聞けた部分が今後の訓練カリキュラムの内容に反映させていくことができるのかなと考えておりますので、より企業ニーズに合わせた訓練の内容が実施できるようになれば、受講者も増えるのではないかとポリテクセンターでは考えております。委託訓練、求職者支援訓練は座学ですので、当施設の実施しておりますものづくりの訓練とはカリキュラムは違いますけども参考にできるところはあると思っていますので、さらに踏み込んだヒアリングを実施していただければありがたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

【畠会長】

ありがとうございます。ただいまのご意見について、事務局からコメントがございますでしょうか。

【事務局 静岡労働局】

はい、ご意見ありがとうございます。今回ヒアリングを実施して、やはり企業さんの何社かに当たったのですが、結果的に3社からしかご回答をいただけていない状況にありまして、企業ニーズを把握するというのは大変難しいのかなと少し感じております。次年度もおそらくこういったことを実施していくことになるかと思いますので、より多くのご意見をいただくために、どうしていったらいいかということも考えつつ引き続きできるだけ多くのご意見をいただくように努力していきたいと思います。ありがとうございます。

【畠会長】

その他いかがでしょうか？

誠に恐れ入りますが、私の方からご指名をさせていただきたいと思います。

議題に直接関連したご意見でなくとも労働者の職業能力開発、地域におけるリカレント教育あるいはリ・スキリング等についてそれぞれのお立場において、普段感じられていることでも構いませんので、よろしくお願ひいたします。

静岡県中小企業団体中央会の住川委員、いかがでしょうか？

【住川委員】

中小企業団体中央会の住川でございます。議題4の公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング結果を拝見させていただいた中で、6ページに、就職支援をする上で、例えば就業場所や職種にこだわりが強い方が多いとか、コミュニケーション能力が不足されている方が多いということが課題として取り上げられております。職業訓練実施機関の業務の範囲外になるかもしれません、修了者の就職後のフォローや定着支援などのフォローアップの状況はいかがでしょうか。「就職させて終わり」ではない継続的な支援体制がどの程度取られているのかが気になりますので、お教えください。

【畠会長】

ありがとうございます。ただいまのご質問について、事務局の方でよろしくお願ひいたします。

【事務局 静岡労働局】

はい、ありがとうございます。まず就職の支援ですが、公的職業訓練を受講している方につきましては、公共職業訓練、求職者支援訓練とともにハローワークの方で受講あっせんを実施しております。ですから、ハローワークの方の就職支援と一体になっていくといいますか、目標としては訓練終了後、3ヶ月以内に就職をしていただくということを目標に掲げておりますので、就職支援の方はハローワークを中心に実施させていただけております。その後の定着支援というところですが、個別の支援としては実施しているケースもあるかと思うのですが、なかなか全ての方に手が回るような状況では残念ながらないというところが実態かと思います。就職については本当に力を入れて、今取り組んでいるところではあります。

【住川委員】

今、個別の支援をされているとおっしゃいましたけれど、支援対象先の基準などはあるのでしょうか。

【事務局 静岡労働局】

特に決められた基準はないのですが、担当者制で支援をすることもありますので、求職者

の方にマンツーマンで支援をしていく時に、就職が決まった後、例えばフォローの状況確認の電話を入れたりとか、数は少ないと思いますが訪問等をするケースも中にはあるかもしれませんですね。

【住川委員】

わかりました。なかなか数も多くて、全てというわけにはいかないと思いますが、少しでもフォローアップの対象を広げていただければ、定着も進むのではないかと感じたものですから質問させていただきました。 どうもありがとうございました。

【畠会長】

先ほど議題6の教育訓練給付制度の事務局からの説明におきまして、指定講座のニーズについて皆様のご意見を伺いたいとのお話もございましたので、その点についても何かあればご意見を賜わることができればと思います。その点以外の点でもご自由にご発言ください。 いかがでしょうか？

恐れ入りますが、 静岡県商工会連合会の吉田委員、いかがでしょうか？

【吉田委員】

はい、商工会連合会の吉田と申します。今日の議題とは違うかもしれませんけれども、人口減少に伴う労働力不足を解消するために女性や高齢者、障害のある方、外国人材など多様な就労希望者の能力が發揮できる環境整備が求められているところでございます、非正規雇用者の能力開発機会も限られている点も課題となっております。 今日お聞きしたいのは、障害者職業能力開発校での専門訓練や外国人向けの訓練開催地域の拡大など、どのように取り組んでいるのか、お聞かせいただければありがたいと思います。よろしくお願ひします。

【事務局 静岡県】

静岡県職業能力開発課の佐野と申します。ご質問ありがとうございます。

障害のある方の職業訓練としましては、静岡県で県立あしたか職業訓練校というものを持っております、そこで1年制の訓練を実施しております。具体的には中学校卒業者、もしくは高等学校卒業者、中には中学校ですと支援級から、高等学校ですと特別支援学校の高等部から来る方もいらっしゃいます。2科ございまして、生産・サービス科と、コンピュータ科で1年間学んでいきます。実際に就職先が決まりましたら、それぞれの就職先企業様のニーズを把握しながら個別対応で卒業までの期間、もしくは就業までの期間を、こういった技能を身につけてもらいたいということを把握しながら、就職に必要なスキルを身につけて就職するという形になっております。

それ以外に、工科短期大学校の沼津キャンパスと静岡キャンパス、浜松技術専門校、沼津

のあしたか職業訓練校で、事業主委託訓練というものも行っておりまして、事業主様が障害のある方を求人したい、障害のある方も是非就職したいという場合に、個別にマッチングをしながら、それぞれのニーズに合わせた就職に結びつくための訓練を行っています。それ以外にも、委託訓練として集合して、例えばOA事務とかの一般的なスキルを身につけた後に、デュアルということで、職場体験をする訓練も地域ごと実施しております。障害のある方で就職したいという方をマッチングしながら進めている状況であります。定住外国人の方のお話がございましたが、こちらも、委託訓練としまして、定住外国人の方、まだまだ日本語が例えばルビ付でないとテキストの理解が難しいという方などを対象にした定住外国人向けの訓練を地域ごと実施しております。それほどまだ開講数は多くないんですけども、そういったニーズに対応しながら地域ごとで実施ができるように進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

【畠会長】

どうもありがとうございました。今のお話に関連して先ほどのご説明の中で1つ、私ものような状況か関心を持った点がございました。公的職業訓練の実績に関してのお話の中で、公共職業訓練の介護・医療・福祉分野13コースのうち3コースは定住外国人を対象として実施しているというお話をいただきましたが、このコースの充足率は実際どれくらいか？もし分かれば参考までにお聞きしたいと思っておりました。よろしくお願ひいたします。

【事務局 静岡県】

はい、ご質問ありがとうございます。令和6年度に3コース定住外国人向けのコースを県内で開講しまして、定員としては30名ですが、実際に入校した方は19名というような状況になっております。

【畠会長】

ありがとうございました。参考になりました。

その他いかがでしょうか？

東海道シグマの青野委員、お願いできますか。

【東海道シグマ 青野委員】

はい、東海道シグマ青野でございます。教育関係、私どもの会社の方で事業としてもやっておりますが、転職を考える方が今どんな状況かもございますけども、例えばコロナの後、こういう講座をリモートでやったりするようになってきましたけれども、求人企業とか転職される方、やっぱり街中の条件のいいところばかりではないものですから、まずは受講するというところで、なかなか通えない人も中にはおるかと思います。そういった場

合、リモートで動画とか WEB で研修というのが有効かなと思います。今後そういうリモートの対応とかで、広く県内全域の企業さん、あるいは求職者、こういう皆さんに受講の機会が増えるようにしたらいかがかなというところと、とはいえ職業訓練ですので、通うということで職業観とか毎日決まった時間にしっかり出社するという、そういうトレーニングも 1 つあろうかと思いますが、今後リモートの方向にするお考えとか そういう方向が適切だなという講座とかありましたら教えていただければとは思います。

【畠会長】

はい、ありがとうございます。 ただいまのご意見についていかがでしょうか？ 事務局の方でよろしくお願ひいたします。

【ポリテクセンター静岡】

ポリテクセンター静岡の森田でございます。基本的に職業訓練ですと、実技が伴うというところがあり、オールオンラインというのが非常に厳しい状況がございます。このような中でも、今後のこと踏まるとオンラインにも対応していかなければいけないという JEDD 本部の考え方もあり、在職者訓練におきましては、今年度、溶接のセミナー 1 コースをオンラインのコースとして設定しております。こちらは、千葉にある高度ポリテクセンターで学科な部分をポリテク静岡を含む複数の施設に配信して、その後、実技部分をその複数の施設で実施するというような形となっています。今後、実技的なところをどう補うかという非常に難しい課題がございますが、いずれはいろいろ工夫しながらオンラインを少し進めていかなければいけない状況にあると思います。今のところは、このような形で試行的に実施しているような現状でございます。

【事務局 静岡労働局】

もう 1 点参考ということで、資料ナンバー 1 の 98 ページに非正規労働者等が働きながら学びやすい職業訓練の本格実施というところがあるのですが、こちらは公的職業訓練とは別の話になってしまいますが、厚生労働省の取り組みとして、非正規労働者の方が今実際お勤めされている方に対して学び直しというか、そういったところを支援していくこうという取り組みの中でオンラインを活用した講座を開設するという動きがあります。今年度は試行事業としてやっていたと思うのですが、来年から本格実施に向けて検討されていると思います。

【畠会長】

はい、どうもありがとうございました。

【事務局 静岡県】

先ほど定住外国人の方向けの訓練の定員充足の状況をお話しさせていただきましたが、大変申し訳ありませんが、誤りがありました。先ほどの人数は定住外国人の方向けの観光分野のコースになっておりまして、介護分野のコースに関しましては、定員が39名に対して24名の方が受講しているという状況でございました。大変失礼いたしました。

【畠会長】

ご丁寧にありがとうございました。その他にご意見ございますでしょうか？
それでは、本日の議題は以上となります。皆様から貴重なご意見、ご質問をいただきまして、誠にありがとうございました、